

会 議 録

会議名	令和6年度 第1回 星が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和6年5月18日(土) 午後1時30分～午後2時50分		
開催場所	星が丘公民館 コミュニティ室		
出席者	委員	14人(別紙のとおり)	
	その他	1人(中央区長)	
	事務局	4人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人、地域活力推進員1人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	1 開 会 2 区長あいさつ 3 役員の選出について 4 会長あいさつ 5 自己紹介 6 議 題 (1) 地域活性化事業交付金について (2) やさしさいっぱい星が丘情報発信プロジェクト(地域活性化事業交付金) (3) 自治会回覧板のDX化事業(地域活性化事業交付金) (4) 星が丘地区の課題・情報共有について (5) 星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルについて (6) その他 7 閉 会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言、■は申請団体の発言)

1 開 会

2 区長あいさつ

萱野区長あいさつの後、中央区役所職員の紹介を行った。

3 役員の選出について

星が丘地区まちづくり会議会則6条及び第8条により、会長1名、副会長2名を互選により選出し、次のとおり承認された。

- ・会 長 竹田幹夫 (星が丘地区自治会連合会 会長)
- ・副会長 後藤陽子 (星が丘公民館 館長)
- ・副会長 坂本洋三 (星が丘地区社会福祉協議会 会長)

4 会長あいさつ

竹田会長あいさつ

5 自己紹介

委員自己紹介

6 議 題

(1) 地域活性化事業交付金について

事務局から、地域活性化事業交付金の対象となる事業や予算運用の基本的な考え方について、資料に基づき説明した。

<主な意見・質疑>

○追加配当の限度額は150万円までしか配分されないのか。

⇒●原則150万円が上限となる。ただし、10月下旬までに各地区への追加事業等の調査を行うので、他の地区の執行状況を鑑みたうえで、150万円を超える場合は相談させていただきたい。

○平成23年に地域活性化事業交付金を活用して作成した救急医療情報ノートがあるのだが、作成から10数年経過していることから、民生委員児童委員協議会をはじめ、各団体とも協力して、改めて作り直したいと考えている。配布だけの場合でも、地域活性化事業交付金の対象になるのか。

⇒●地域の為に役立つ内容であれば、物品等の配布事業も対象になると思われる。具体的な申請団体や、細かい事業内容については個別に相談させていただきたい。

(2) やさしさいっぱい星が丘情報発信プロジェクト（地域活性化事業交付金）について

申請団体から、やさしさいっぱい星が丘情報発信プロジェクトについて、資料に基づき説明した。

- ・申請団体名：星が丘地区情報サイト委員会
- ・事業名：やさしさいっぱい星が丘情報発信プロジェクト
- ・事業内容：新たにホームページを作成するにあたり、星が丘地区内で活動している各団体に声掛けし、特定の団体ではなく、地区全体のホームページとして情報発信をしていく。

<主な意見・質疑>

○地域活性化事業交付金の交付（3年間）が終わってから、維持管理費はどのように負担していくのか。例えば、ページ数が多い地区自治会連合会や地区社会福祉協議会が多めに支払い、ページ数が少ない地区交通安全母の会等の団体は少なめに支払うのか。あるいは、一律に支払うのか。

⇒■各団体が利用するホームページになるので、今後進めていくうえで、団体同士で支払方法を話し合っ決めていければと考えている。今年度は必要最低限の機能しか備えていないため、あと2年間分はホームページを改修する経費と一緒に維持管理費を含むことができると考えられる。なるべく早めに維持管理費について話していければと思っている。

<結果>

積極的採用とする。

(3) 自治会回覧板のDX化事業（地域活性化事業交付金）について

申請団体から、自治会回覧板のDX化事業について、資料に基づき説明した。

- ・申請団体名：星が丘地区自治会DX化促進会
- ・事業名：自治会回覧板のDX化
- ・事業内容：新たに電子回覧のシステムを作成し、地域情報紙等を通じて電子回覧の周知及び電子回覧（メールマガジンの配信）を実施する。

<主な意見・質疑>

○セキュリティ対策について、パスワードの複雑化は理解できた。だが、セキュリティ対策として、どの程度強化できるものなのか。段階などが定まっているのか。

⇒■サーバーには様々なプランが用意されているが、プランの違いは要領やサービス面の違いとなっており、セキュリティ面ではどれも同じ強度になっている。以前のホームページが改ざんされた原因は特定できていないが、パスワードが簡易的な内容であったと伺っている。パスワードを具体的には10文字以上、大文字小文字数字記号を組み合わせて、突破できないようにしていきたい。また、電子回覧

とホームページのサーバーを別々にすることも対策の一つになる。

○電子メール配信の委託先は、個人経営ではなく会社をお願いすることはできないのか。

⇒■例えば、電子回覧のシステムを作る会社はシステムだけの提供のみで、回覧物のデータ化や電子メールの配信を請け負う会社は現時点で見つかっておらず、今回も個人経営事務所をお願いする予定である。

○10年後には電子回覧が主流となり、今回実験的に電子回覧を行うことは賛成であるが、地域活性化事業交付金が終了してからの維持管理費について、どのように考えているのか。

⇒■一つの自治会に対する年間維持費は24,000円になる想定で、地域活性化事業交付金が終了してからの継続については、電子回覧の登録者数によって左右されるのではないかと考えられる。登録者数が多ければ継続になるだろうし、登録者数が少なければ継続の検討が必要ではないかと思われる。

⇒○将来のことを考えると続けたいが、それまでの間、まだ分からないが仮に登録者10数名のために払うのは負担が大きい。例えば、4年目以降は地域活性化事業交付金を半額出すといった措置が取れるなら続けられるのではないか。

⇒●令和2年度に、新規団体の参入を促すために4年目以降の事業を交付金の対象外にすることとしたが、コロナ禍の影響も相まって、交付申請数及び申請額が減少している。そういった背景も踏まえつつ、地域活性化事業交付金の課題整理や見直しに向けたワーキングを行っており、そこで4年目以降の取扱についても検討をしていきたいと考えている。

⇒●例えば、子育てマップやシステムの保守費用等は、年数が経つとどうしても更新せざるを得なくなる。そのような場合の取扱についても、制度の見直しが必要になるかもしれないので、併せて検討できればと考えている。

○維持管理費について、電子回覧の登録者数が増えても、金額は変わらないのか。

⇒■金額は変更しない。

<結果>

積極的採用とする。

(4) 星が丘地区の課題・情報共有について

事務局から星が丘地区の課題・情報共有における、令和6年度の目標案について、資料に基づき説明した。

<主な意見・質疑>

○4月に行われたスマホ教室では、受講者の募集を開始してすぐに定員に達した。定期的にスマホ教室を実施し、地域の人達が一定程度の上達をしたら、希望者数も落

ち着いてくると考えられる。講師の人数を考慮すると、募集人数が定員の半数であるマンツーマンで対応できる10名までに落ち着いてくれることが理想である。
⇒○社協のコミュニティ形成事業の「いこいの広場」では、スマホ教室とまではいかないが、参加した人にマンツーマンでスマホの使用方法を教えている。

(3) 星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルについて

事務局から、令和6年度の星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルについて資料を基に説明し、委員に意見を伺った。

<主な意見・質疑>

○模擬店について、実行委員会で用意する物は区画のみで、ブルーシート等の必要物品は出店者自身が用意してもらう方が良い。今まで通り、テントや机椅子等が必要な出店者は出店料を5,000円のままにする。
⇒●承知した。資料もそのように訂正する。

○区画はどのくらいの大きさで、出店数はいくつを見込んでいるのか。募集をする際に、区画の面積は伝えたほうが良いと思う。
⇒○この形式での出店希望数が多ければ、テントを希望する出店者は減って会場内のスペースが確保されるので、一概に区画の広さは決められない。基準を出店数とするのか、区画の面積とするかで線引きが変わってくる。

(4) その他

事務局から、令和6年度星が丘地区まちづくり会議等年間スケジュール（案）について資料を基に説明した。

<主な意見・質疑>

○公募委員は通年で募集しているのか。
⇒●定員の5名に達していないため、通年で募集している。

4 閉 会

以 上

星が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団 体 等	代表者氏名	団体での役職	出欠席
1	地区自治会連合会	竹田 幹夫◎	会長	出席
2	公民館	後藤 陽子○	館長	出席
3	地区社会福祉協議会	坂本 洋三○	会長	出席
4	地区民生委員児童委員協議会	八木 鉄雄	会長	出席
5	地区青少年健全育成協議会	井上 アヤ子	副会長	出席
6	星が丘小学校PTA	岡本 浩三	会長	出席 (Zoom)
7	青少年指導委員	高畑 由美子	地区長	出席
8	スポーツ推進委員	伊藤 福實	委員	出席
9	健康づくり普及員協議会	長塚 勇一郎	委員	出席
10	地区老人クラブ連合会	石黒 雄彦	会長	出席
11	地域包括支援センター	柳下 恭子	センター長	欠席
12	地区交通安全母の会	富倉 亜紀	会長	出席 (Zoom)
13	消防団第4分団第4部後援会	立山 均	会長	出席
14	相模原交通安全協会千代田支部	五十嵐 富士夫	支部長	出席
15	公募	近藤 大助		出席 (Zoom)

※◎、○はまちづくり会議での役職（◎：会長、○：副会長）